第1学年　国語　評価規準表

観点 単元等		知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
4月	いいてんき おはなしたのしいな あつまってはなそう えんぴつとなかよし どうぞよろしく なんていおうかな こんなものみつけたよ うたにあわせてあいうえお	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える 働きがあることに気付くこと。 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。 音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。	互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。	絵を見て気づいたことや想像したことをはっきり話したり，友達の話を注意して聞いたりしている。 読み聞かせを聞いて，話の筋をつかんだり場面ごとに様子を思いうかべたりしながら，楽しんで聞いている。 好きな動物について，好きなところや気に入ったところを，友達と話し合っている。 鉛筆の持ち方と正しい姿勢を身に付け，運筆を練習している。 クラスの友達と自己紹介し合うために，自分の名前を書いた名刺を作り，自分の知ってもらいたいことを話している。 場面に合ったあいさつや話す内容を考えて話している。 学校内を探検し，見つけたことや気がついたことを，絵にかいてみんなに発表している。 あいうえおの歌を，場面ごとに内容を思いうかべながら音読し，母音(あ，い，う，え，お)を正しく書いている。

5	こえにだしてよもう ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する	場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなど	リズムやくり返しに注意して，場面の様子を想像しながら詩を音読している。 隣の友達と，「すきな　あそび」を聞き合い，聞いたことをクラスのみんなに知らせている。 「あ・い・う・かｌ ではじまる言葉を集めたり書いた

		こと。	を工夫すること。	りして，語彙を増やしている。
	はなのみち としょかんへいこう かきとかぎ	読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。	話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。	場面ごとに，くまさんの行動を中心にして場面の様子を想像している。 くまさんの行動や場面の様子を想像しながら読み，分担して音読している。 本を読むことに興味をもって，学校図書館で本を探して読んでいる。
月	ぶんをつくろう ねことねっこ	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。	語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	清音と濁音の違いを理解し，濁音の平仮名を正しく読み書きしている。 「一が一する。」の文型を理解し，終わりに句点を付けて正しい文を書いている。 促音と半濁音を理解し，促音と半濁音の平仮名を正しく読み書きしている。

6	わけをはなそう おばさんとおばあさん くちばし おもちやとおもちゃ	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違	身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	理由を説明する話し方がわかり，気持ちの理由を説明している。 長音の書き表し方に注意して，平仮名の長音を正しく読み書きしている。 鳥のくちばしについて，まとまりごとに，絵や写真と結び付けて，くちばしの形とくちばしですることを正しく読み取っている。

月	あいうえおであそぼう おおきくなった おおきなかぶ	いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。 事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。	しく読み取っている。 拗音の書き表し方に注意して，平仮名の拗音を正しく読み書きしている。 「あいうえおで　あそぼう」を声に出して読み，正しい口形ではっきりと発音するとともに，五十音表の組み立てを理解している。 観察したことを書く絵日記の書き方を理解し，絵日記を書いている。 登場人物の行動や場面の様子を想像しながら読み，くり返しや言葉のリズムのおもしろさを味わい，音読や動作化をしている。 だれが，何と言い，何をして，どうなったか，また，どんな順序でだれを引っ張ったかを想像しながら，場面ごとに読んでいる。
7	はをへをつかおう	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ	語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	助詞「は」「を」「へ」の使い方がわかり，「は」

月	すきなものなあに おむすびころりん としょかんとなかよし こんなことがあったよ	（｜」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。	身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。	｜を」｜へ」を正しく使った文を作っている。 自分の「すきな　もの」について，理由をはっきりさせて話したり，文章に書いたりしている。 教師の読み聞かせを聞いて，登場人物やあらすじをとらえている。 おじいさんや場面の様子を想像しながら読んでいる。 言葉のまとまりや内容，リズムや響きを楽しんで音読している。 本を読むことに興味をもって，学校図書館で本を探して読んでいる。 絵日記の書き方を理解し，したことを思い出して絵日記を書いている。

9 月	こえにだしてよもう ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび やくそく かたかなをみつけよう うみのかくれんぼ かずとかんじ	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 第１学年においては、別表の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）の第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。第２学年においては、学年別漢字配当表の第２学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第１学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第２学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。	ること。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。 事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	「いちねんせいの　うた」を声に出して読み，読んだ感じを大事にして，工夫して音読している。 友達が夏休みにしたことを，様子を思い浮かべながら聞いている。 「ことばあそび」を楽しみながら，語彙を増やしている。 3匹の「あおむし」の様子や場面の様子を思いうかべながら，お話を楽しく読み，登場人物になったつもりで音読している。 片仮名の表記を理解し，正しく読み書きしている。 文章と写真を結び付けながら，何が，どこに，どのように隠れているか，読み取っている。 漢数字を正しく読み書きしたり，身近なものの数え方を知り，正しく数えたりしている。

10	くじらぐも しらせたいな、みせたいな	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する	場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え	「いいな。」「すきだな。」と思ったところを発表している 「　」の部分の読み方を工夫しながら，音読している。 場面の様子を思いうかべながら，登場人物になった気持ちで音読し合い，くじらぐもの上でみんながどんな

月	まちがいをなおそう ことばをたのしもう かん字のはなし	こと。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。 第１学年においては、別表の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）の第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。第２学年においては、学年別漢字配当表の第２学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第１学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第２学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。	合うために必要な事柄を選ぶこと。 伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	話をしたか想像して言葉を書いている。 家の人に知らせたいことや見せたいものをよく観察して，相手によくわかるように文章を書いている。 助詞「は・を・へ」の使い方を理解して，正しく直している。 文字と言葉の関係を理解し，言葉遊びを楽しんでいる。 漢字のそれぞれのできかたを理解して，意味を考えて漢字を正しく使っている。

11	じどう車くらべ じどう車ずかんをつくろう	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 身近なことや経験したことを報告したり、観察したこ	この文章にどんな自動車が出てくるか，理解している。 自動車ごとに，「しごと」と「つくり」を結び付けながら，内容を正確に読み取り，「はしご車」の仕組みについて話し合っている。 いろいろな自動車について，教材文を参考にしてカードにまとめ，図鑑を作っている。 片仮名の表記を理解し，正しく読んだり書いたりしている。

月	かたかなをかこう ともだちのこと、しらせよう むかしばなしをよもう おかゆのおなべ	伝える働きがあることに気付くこと。 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。	身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。	いる。 友達に，今いちばん楽しいと思うことを聞いている。 友達に聞いたことを文章に書き，クラスのみんなにわかりやすく知らせている。 「おかゆの　おなべ」を参考に読み，好きな本やおもしろかった本を友達に紹介する「おはなしカード」に書いている。
12	もののなまえ	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。	互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。 尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。	物の名前の仕組みやはたらきを知り，上位語と下位語について理解している。

月	わらしべちょうじゃ 日づけとよう日 てがみでしらせよう	我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。 第１学年においては、別表の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）の第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。第２学年においては、学年別漢字配当表の第２学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第１学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第２学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。	文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。 日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。	物の名前を集めてお店屋さんごっこをして，お互いにはっきりわかるように話している。 人物や場面の様子を想像しながら教師の読み聞かせを聞き，昔話を楽しんでいる。 日付と曜日を表す漢字を使った歌を読み，その漢字を読んだり書いたりしながら，自分でも「日づけ歌」や「曜日歌」を作っている。 相手を決めて，伝えたいことを2〜3つ書き表す簡単な手紙を書いている。
1		語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。	場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容	

月	こえに出してよもう ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび たぬきの糸車 かたかなのかたち ことばを見つけよう	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。	や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	言葉のリズムや響きなどを考え，詩にえがかれている様子を思いうかべながら，工夫して音読している。 友達がどんなお話が好きか，くわしく知りたいことを考えながら聞いている。 元の言葉に，一字あるいは二字加えたり濁点を加えたりして変身させ，語彙を増やしている。 たぬきとおかみさんの様子や気持ちを，まとまりごとに読んでいる。 好きな場面を選んで文を写したり絵にかいたりして，音読している。 形の似ている片仮名や間違えやすい片仮名について調べ，正しい文字の形で書いている。 言葉の中に言葉を見つけたり，言葉が隠れている文を作ったりして，言葉遊びを楽しんでいる。

2 月	どうぶつの赤ちゃん これは、なんでしょう ずうっと、ずっと、大すきだよ	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。	「どうぶつの　赤ちゃん」を読んで，初めて知ったことや，不思議だなと思ったことを話している。 ライオンとしまうまの赤ちゃんについて，違いを比べながら，内容を正しく読んでいる。 ほかの動物の赤ちゃんの本を読んでわかったことを友達に知らせている。 「これは，なんでしょう」の活動で，相手によくわかるようにはっきりと話したり質問したりしている。 エルフは，どんなふうに変わっていったか確かめている。 「ぼく」が，エルフのことが「大すき」だとわかるところに線を引いている。 「ぼく」がエルフをどれだけ「大すき」だったか，「ぼく」とエルフの行動や気持ちを想像しながら読んでいる。

3 **月**	にているかん字 いいことといっぱい、一年生	第１学年においては、別表の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）の第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。第２学年においては、学年別漢字配当表の第２学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第１学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第２学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。	語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。	形が似ている漢字を使い分けて，漢字を正しく読み書きしている。 入学してからの一年間にあったことを思い出して，わかりやすく文章に書いている。